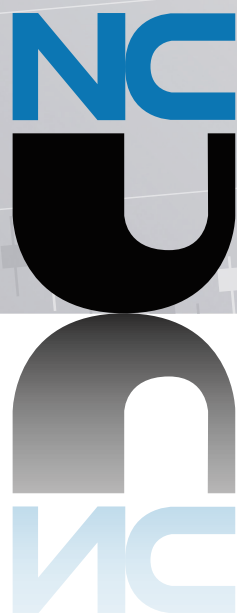


さらなる可能性を追求しませんか。



名古屋市立大学

大学院経済学研究科

NAGOYA CITY UNIVERSITY
Graduate School of Economics

2025 GUIDE BOOK

ごあいさつ



経済学研究科長
中山 徳良

名古屋市立大学経済学研究科は、経済学や経営学の研究者を志望される方はもちろんのこと、高度な専門的知識を得たい社会人の方にも門戸を開いています。本研究科において、純粋に学問的な興味を追求したり、働いていて感じた疑問に取り組んだり、あるいは社会問題について考察したりすることを通して、経済学や経営学についての研究の面白さをぜひ知っていただきたいと思っています。そして、大学院において自らのさらなる可能性を追求していただきたいと思っています。そのために本研究科のスタッフは、プロフェッショナルとして研究をサポートします。

さて、本研究科は1968年に設立されました。1989年には夜間社会人大学院(日本経済経営専攻)をわが国で初めて開設しました。その後、2016年からは医療関係者を対象とした

医療経済マネジメントコース、2020年からは経験者を含む経営者を対象とした経営者コースを開設しています。また、経営学専攻においては経営学の学位を取得できるようになっており、博士前期課程では修士(経営学)、博士後期課程では博士(経営学)を取得できます。このように時代の要請に応じて、本研究科は進化を続けています。

本研究科はこれまで94名に博士号、1043名に修士号を授与してきました。大学院修了後には、大学教員となり活躍している方も多くいます。また、高度な知識を身に付けた専門職として、あるいは官公庁や企業などで活躍している方もいます。ぜひ本研究科に入学していただき、経済学や経営学の研究を行うことにより、これからのご自身のキャリア形成を考えてみてはいかがでしょうか。

博士前期課程・社会人特別選抜 実務直結の2コース

時代に即した大学改革を進める中であって
社会に貢献する経済学研究機関として
新たなステージへ



医療経済マネジメントコース

医療経済マネジメントコースは2016年に開設されました。医療関係者を対象として、経済学・経営学に関連する高度専門的教育を行っており、文部科学省の「職業実践力育成プログラム(BP)」に認定されています。このコースでは、経済系(経済学・経営学)と医療系(医学・薬学)の両分野にわたる充実した講義科目を履修することができます。また、医療経済・医療経営・医療会計の専門的スタッフ(兼任教員)による研究指導を受けることができます。



経営者コース

経営者コースは2020年に開設されました。本コースは、企業やNPO団体をはじめとする様々な組織の「経営者」を対象に、経営や経済の制度および歴史にかかわる高度な専門的教育を行うとともに、それらのフレームワークを用いて「経営者」のもつ貴重な経験を理論、実践の両面においてより有用な情報、知見へと昇華させることを目的としています。この目的のために、本コースでは、経営学、制度経済学や経済史などの多様な分野の教員による研究指導を受けることができます。

研究支援

長期履修制度

仕事や家事・介護のため、通常の2年間での修了が困難な方のために長期履修制度があります。希望者は、入学時もしくは2年進級時に所定の手続きにしたがって長期履修を申告し、それが認められれば、2年間分の学費で3年間在籍できます。

昼夜開講制と集中講義

博士前期課程の授業科目のほとんどは、1年ごとに昼間・夜間交互に開講されます。また集中講義も設置されており、平日の昼間に履修できない社会人の方の中には、夜間と土曜日の履修のみで修士号を取得する例もあります。

修士論文とリサーチ・ペーパー(RP)

博士前期課程の修士学位の取得のためには、修士論文1編もしくはRP1編を作成する必要があります。高い専門性を備えた修士論文に代えて、講義科目の内容を深めたRPを作成することで学位を取得できます。

早期履修制度※

優れた業績を上げた場合、1年間で本研究科博士前期課程を修了できます。また、博士後期課程では、一定の研究業績を有する学生について最短1年で修了し、課程博士の学位を取得できる早期修了プログラムを用意しています。

入学前既修得単位認定制度

入学前に、本学大学院または他の大学院等において履修した授業科目における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む)について、一定の範囲で本研究科前期課程において修得したものとして認定する制度があります。

他大学院との単位互換※

本研究科では、名古屋大学、名城大学および名古屋工業大学と単位互換の協定が結ばれています。これらの提携大学で履修した単位は、本研究科教授会にて単位の認定を行います。履修可能な科目は、毎年度4月と9月に掲示されます。

同窓会組織

寄付講座の提供など在校中および卒業後の活動を支援する同窓会組織として、社会人修了生を中心とする剣陵会があります。

注：医療経済マネジメントコース、経営者コースにおいて※の制度は対象外となっています。



学位授与数

【近年の状況】()内の数字は、うち博士後期課程進学者 (単位:人)

	博士前期課程			博士後期課程
	一般・外国人	社会人	計	
2020年度	11	13	24 ⁽¹⁾	3
2021年度	16	16	32 ⁽¹⁾	1
2022年度	19	12	31 ⁽¹⁾	1
2023年度	28	17	45 ⁽³⁾	1
2024年度	16	16	32 ⁽⁰⁾	1

【総数】(2025年3月現在) (単位:人)

修士		博士	
一般・外国人	社会人	課程博士	論文博士
491	552	73	21
1043		94	

博士前期課程修了者(社会人以外)は、金融業、メーカー、情報サービス、会計事務所、国家・地方公務員などに就職しています。また博士後期課程に進学する方もいます。博士後期課程修了者の中には、研究者として活躍している方(岐阜大学、中央大学など)もいます。

研究活動

附属経済研究所

グローバルな視点から地域経済の研究を進める目的で、1996年に設立されました。教員および大学院生が参加するプロジェクト研究や、公開シンポジウム、研究セミナーなどを行っています。

火曜研究会

学内外の教員および大学院生による月1回の研究会が開催されています。英語でのワークショップも行っています。



Economics Major 経済学専攻

経済理論、経済政策 および制度・歴史の アカデミズムを求めて

現在われわれを取り巻く経済環境の変化は急速です。少子高齢化やグローバル化の進展というトレンドの中で、自然災害からの復興、財政赤字の深刻化など日本経済は多くの難問を抱えています。こうした諸問題に対し、経済学のオーソドックスな分析方法を基礎として多面的に接近することが経済学専攻の特徴です。

本専攻はミクロ・マクロ経済学の理論的發展を目指す「経済理論系」、財政金融政策に関わる実践的問題を取り扱う「経済政策Ⅰ系」、国際経済政策・産業政策などのあり方を探る「経済政策Ⅱ系」、経済システムの多様性と変化を追究する「制度・歴史系」の4つの系から成り立っています。多様な見地に立つ4つの系の存在により、幅広い問題意識に応える専門知識や分析能力を身につけることが可能です。

主なリサーチ・ペーパー(RP)、修士論文、博士論文のタイトル、教員一覧

 医療経済マネジメントコース所属教員

 経営者コース所属教員

経済理論系

- RP** 自治体病院と一部事務組合病院について—公立陶生病院の事例研究—
- 修論** チーム医療のインセンティブ設計—米国Group Practiceの経済学的分析からの学びを日本のチーム医療へ展開する—
- 修論** 大都市既成市街地(名古屋市区別)における人口変動の住宅地価への影響
- 博論** 経済成長要因—中国地域経済及びクロスカントリーの分析—
- 博論** 不完全所有権と非慈善的経済政策の下での要素移動



江口 允崇
専 門 分 野: マクロ経済学、財政学、金融論
担 当 科 目: マクロ経済学
現在の研究課題: マネーファイナンスによる財政政策、金利と成長率の差に不確実性がある場合の財政の持続可能性



岡野 衛士
専 門 分 野: マクロ経済学
開放マクロ経済学
担 当 科 目: 金融論
現在の研究課題: 開放経済での金融政策



川 端 康
専 門 分 野: 国際貿易論
担 当 科 目: 国際経済学
現在の研究課題: 貿易政策の理論分析



澤野 孝一郎 
専 門 分 野: ミクロ経済学
応用ミクロ経済学
担 当 科 目: ミクロ経済学、医療経済学
現在の研究課題: 医療・航空・公共サービス



爲近 英恵
専 門 分 野: 応用一般均衡モデル応用計量経済学
担 当 科 目: 応用計量経済学
現在の研究課題: 環境政策に関する実証分析



山田 恵里
専 門 分 野: 都市経済学、地域経済学
担 当 科 目: 都市経済学
現在の研究課題: 産業クラスターと地域経済の生産性に関する研究

経済政策Ⅰ系

- RP** 看護師の限界生産力と賃金との乖離
- 修論** 法人税法における交際費課税制度の考察—企業活動への影響を中心に—
- 修論** 消費税法における事業者免税点制度に関する一考察—益税問題と課税売上高の判定基準を中心として—
- 博論** 生活基盤型の社会資本および公共投資に関する実証的研究
- 博論** 大都市自治体における財政の規律と行政評価—名古屋市を中心とした分析と考察—



周 揚
専 門 分 野: 国際金融、マクロ金融
担 当 科 目: 国際金融論
現在の研究課題: 資本規制のデータ構築及び政策効果、経済不確実性が国際金融市場にもたらすリスク



濱口 泰代
専 門 分 野: 実験経済学、公共経済学
担 当 科 目: 実験経済学
現在の研究課題: リニエンシー制度の談合抑止効果に関する実験研究



平賀 一希
専 門 分 野: 公共経済学、財政学
マクロ経済学
担 当 科 目: 公共経済学
現在の研究課題: 消費課税の理論・実証分析



森田 雄一
専 門 分 野: 経済理論、財政学
担 当 科 目: 財政政策論
現在の研究課題: 所得分配と経済成長



湯之上 英雄
専 門 分 野: 公共経済学、地方財政論
担 当 科 目: 地方財政論
現在の研究課題: 公共政策の実証分析



横山 和輝
専 門 分 野: 金融論、経済史
担 当 科 目: 金融政策論
現在の研究課題: 暗号資産、金融危機

経済政策Ⅱ系

- RP** 留保金課税と内部留保の活用の検討
- 修論** 水道事業の規模の経済性の再検証
- 修論** 日本のODAがインドネシアの経済成長に与えた影響の考察
- 修論** 親の所得階層が子どもの所得、幸福度に及ぼす影響の分析
- 博論** 震災による電力供給制約が我が国の経済に与える影響に関する応用
- 博論** フードサプライチェーンにおける需給調整と食品ロスの発生メカニズム



板倉 健
専 門 分 野: 国際経済、貿易政策
担 当 科 目: 国際経済関係論
現在の研究課題: グローバルC/G/Eモデル開発と貿易・地域・環境への応用分析



内田 真輔
専 門 分 野: 環境経済学、応用計量経済学
担 当 科 目: 環境資源経済論
現在の研究課題: 気候変動の経済分析
資源分布と経済成長



中山 徳良 
専 門 分 野: 産業組織論、公益事業論
担 当 科 目: 産業組織論、医療経済評価
現在の研究課題: 規制産業の効率性・生産性に関する研究



山本 陽子
専 門 分 野: 労働経済学、社会保障論
担 当 科 目: 社会保障論
現在の研究課題: ワーク・ライフ・バランスと女性の就業、所得格差への影響の分析



和久津 尚彦 
専 門 分 野: 産業組織論、医療経済学
担 当 科 目: 医療産業論
現在の研究課題: イノベーションおよび薬価制度のあり方に関する経済分析

制度・歴史系

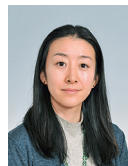
- RP** スウェーデン福祉国家の形成に関する諸学説
- 修論** 戦時期における豊田業団の事業展開—綿紡績業の企業整備と軍需転換をめぐって—
- 修論** 中国における日系企業の現地化に関する一考察
- 博論** 地方型アパレル産業の形成と発展—産地企業の協調と競争・組織能力—
- 博論** ハイブリッド車／電気自動車の開発と企業間関係—基幹技術のアウトソーシング・マネジメント—



木谷 名都子 
専 門 分 野: 外国経済史
担 当 科 目: 外国経済史
現在の研究課題: 20世紀前半におけるイギリス帝国と日本の経済関係



平野 大昌 
専 門 分 野: 労働経済学、応用計量経済学
担 当 科 目: 労使関係論
現在の研究課題: 企業の生産性と労働環境の関係についての研究



藤田 菜々子 
専 門 分 野: 経済学史、制度経済学
担 当 科 目: 経済学史
現在の研究課題: スウェーデン経済学史とスウェーデン・モデルの研究



山口 明日香 
専 門 分 野: 日本経済史
担 当 科 目: 日本経済史
現在の研究課題: 日本の産業化と資源・エネルギー利用

VOICE 修了生の声

大学院で学んだこと

私の研究テーマは地方銀行の店舗分布です。もともと私は経済学部出身ではないのですが学部時代にこのテーマに興味を持ち経済学研究科の門を叩きました。大学院では、先生方に指導していただきながら経済学を一から学び、研究を進めることができました。また、就職に関しても就職支援室をはじめ多くの方々に支援いただき無事就職することができました。私は総合大学である名古屋市立大学大学院に進学し先生方をはじめ多くの方に出会い、学ぶことができとても有意義な時間を過ごすことができました。



佐野 翔一さん
(経済学専攻)



中村 圭吾さん
(経済学専攻)

VOICE 修了生の声

迷わず進め、大学院へ

学び直しをするのに、年齢は障害ではないのだ、これは入学後の実感です。社会人として仕事をしながら、2年間で論文作成ができるのか。勤務後、毎日授業に通うことができるのかと心配しましたが、本学は昼夜開講制を取り、昼間履修ができない社会人でも、平日夜間と土曜日、夏期の集中講義を履修して、2年で修士の学位を取得することが可能です。指導教員には、夜間じっくりとご指導をいただき、教室と研究室、図書館を巡り、2年間で充実して過ごすことができました。私の研究テーマは、医療保険財政です。地方行政の現場で、国保や高齢者医療のコスト問題を考えています。改めて経済理論を学び直し、今、充実して毎日の仕事を進めることができています。迷わず進め、大学院へ。

経営学専攻

Business Major

実践の背景にある理論を

経営学専攻は、企業活動のグローバル化、会計基準の国際的収斂、金融や情報技術の発展などといった、昨今の企業を取り巻く経営環境の大きな変動の中で、企業活動に関わる諸問題に経営・会計・財務・情報の立場からアプローチすることを目的としています。

本専攻は、企業経営に関する様々な問題を解決する方法を追究する「経営系」、会計情報を利用した管理・計画やその影響を分析する「会計系」、企業の財務政策や経営戦略に関わる諸問題に計量的手法で接近する「ファイナンス・情報系」といった3つの系からなります。

3つの系は企業活動の分析については互いに緊密な関係にあり、系の独自性を保ちつつ相互に関連性を持って教育・研究を行うことで、企業マネジメントや会計ファイナンスに関わる高度専門職業人や研究者の育成を目指しています。

主なリサーチ・ペーパー(RP)、修士論文、博士論文のタイトル、教員一覧

医療経済マネジメントコース所属教員

経営者コース所属教員

経営系

- RP** ミドルマネジャーのフォロワーシップの実際—製薬企業におけるインタビュー調査から—
- 修論** デジタルスポーツ観戦者の観戦動機に着目した構造分析—スポーツの観戦動機因子を用いて—
- 修論** ソーシャル・アントレプレナーによる社会的価値の創造—事例から見るソーシャル・イノベーションの創出と普及—
- 修論** 持続可能なサプライチェーン・マネジメントの構築について—中国PCメーカーのサプライチェーンとリスク対応に関する事例研究—
- 博論** 鉄道と百貨店—業態内変容のメカニズム—
- 博論** 商品アイデア創造に関わる個人特性と組織特性の機能的関係



大神 正道
専門分野：技術マネジメント
担当科目：技術マネジメント
現在の研究課題：企業行動と技術進化



河合 篤男
専門分野：経営組織論、組織革新
担当科目：経営組織
現在の研究課題：企業革新に関する研究



坂井 貴行
専門分野：アカデミック・アントレプレナーシップ
担当科目：ベンチャー企業論
現在の研究課題：大学における研究成果の商業化とスタートアップ創出の日米比較、TLOのトップマネジメントチームと技術移転パフォーマンス、自然科学系大学院生の起業意図



下野 由貴
専門分野：経営学、国際経営
担当科目：サプライヤー・システム
担当科目：国際経営
現在の研究課題：グローバルサプライチェーン戦略



竹内 真登
専門分野：マーケティング・リサーチ
担当科目：マーケティングリサーチ
現在の研究課題：調査方法の改善、不適切回答への対処



出口 将人
専門分野：経営戦略論、経営組織論
担当科目：経営戦略
現在の研究課題：地域レベルの事業転換についての研究



三島 重顕
専門分野：薬局経営
担当科目：経営管理
現在の研究課題：管理論、薬局マネジメント



山本 奈央
専門分野：マーケティング、消費者行動論
担当科目：マーケティング
現在の研究課題：消費者行動におけるブランドの役割

会計系

- RP** リース会計基準の変更による財務情報への影響
- 修論** 確定決算主義と報告利益管理行動の分析
- 修論** バランスト・スコアカードによる戦略実行と効果測定
- 博論** 減配回避を目的とした報告利益管理行動の分析
- 博論** 経営者予想情報に対する市場の反応とガバナンス要因の分析



高橋 二郎
専門分野：会計学
担当科目：財務分析
現在の研究課題：事業資産会計の構造と機能に関する理論的・実証的研究



吉田 和生
専門分野：財務会計
担当科目：財務会計
現在の研究課題：会計情報の研究

ファイナンス・情報系

- RP** J-REITにおける証券市場と実物不動産市場のキャップレートに関する関係性の基礎的検討
- 修論** 事業投資判断に関わるRNPVロジットモデルの基礎的検討—火力発電設備投資を題材に—
- 修論** オープンソース開発手法について—ソフトウェアからハードウェアへの展開—
- 博論** 社会的責任投資(SRI)のパフォーマンスと情報開示
- 博論** ICT活用による教育サービスの改善—イノベーションの普及と組織的活動—



茨木 智
専門分野：数理計画
担当科目：オペレーションズ・リサーチ
現在の研究課題：オペレーションズ・リサーチ
現在の研究課題：データの分類・同定に関する研究



河合 勝彦
専門分野：経済・経営情報学、計算経済学
担当科目：経営情報
現在の研究課題：フリー・オープンソースソフトウェアの経済分析



坂和 秀晃
専門分野：コーポレート・ガバナンス
担当科目：マーケット・マイクロストラクチャー
担当科目：応用企業ファイナンス
現在の研究課題：日本のコーポレート・ガバナンスに関する実証分析



渡辺 直樹
専門分野：コーポレート・ガバナンス
証券市場
担当科目：実証ファイナンス
現在の研究課題：証券市場・企業金融に関する実証分析



張 洪毓さん
(経営学専攻)

VOICE 修了生の声

日本の大学院で学ぶ意義

私は中国の大学でトヨタ生産方式や日本の経営を学びました。そのことがきっかけで、トヨタ自動車などの日本企業の経営に興味を持つようになり、中国の大学を卒業後、日本の大学院に進学しました。

大学院では、ディスカッションを中心とした授業が行われます。先生方は私たちと一緒に議論してくれますし、留学生だけでなく社会人の大学院生もいらっしやるので、日本の企業の実態に即した経営の理論や知識を習得することができます。

教授の丁寧な指導の下で、経営学の理論を体系的に理解するとともに、統計分析や事例研究の方法を習得することによって、修士論文を完成させることができました。また、これらの知識を実践に応用する能力も磨くことができました。



山田 哲弘さん
(経営学専攻)

VOICE 修了生の声

柔軟なカリキュラムとハイレベルな研究会

研究者育成という点で、名古屋市立大学大学院には2つの大きな魅力があります。

1つ目はカリキュラムの柔軟性です。現代の研究は学際的になることが多く、研究の考え方や目的に適した効率的な学習が大切です。私は会計学を専攻していますが、大学院では考え方の基礎となるファイナンスや、分析手法として不可欠な統計学などを集中的・体系的に学びました。

2つ目の魅力は第一線の研究者を招いて開催される多様な研究会です。学内外の先生方との意見交換は、ときに厳しくもありますが、自身を大きく成長させるきっかけになったと感じています。学位取得後、私は大学教員として働いています。名市大で培った研究の基礎力は掛け替えのない財産です。

8番のりばより金山14号系統(桜山経由)「瑞穂運動場」行き「滝子」下車